

シン・交通事故対策 ~交通安全マネジメントのこれまでとこれから~

これまで漸減傾向にあった国内の交通事故発生件数及び死者数は、昨年増加に転じました。近年、条件付自動運転車の普及や新しいモビリティ等の交通参加により、多様な交通が混在することで、交通行動や交通流そのものに変容が生じている可能性があります。たとえば、自動車の交通事故に関しては、追突事故の減少が期待される一方で、新しい種類の事故増加が懸念されています。このため、これまでとは異なった考え方に基づく交通事故対策の必要性が高まっています。そこで本講習会では、「新しい交通事故対策」をテーマとし、現状における事故の特徴と傾向について、ならびに最新の事故対策手法と対策事例を紹介するとともに、今後の新しい交通安全マネジメントについても展望します。会員の方々をはじめ、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- 主 催：一般社団法人 交通工学研究会 <https://www.jste.or.jp/> ■後 援：警察庁・国土交通省
- 開催日：2024年7月9日(火)
- 会 場：内幸町ホール(東京都千代田区内幸町1-5-1) ※オンライン同時配信
- 参加費(消費税10%を含む)：交通工学研究会 正会員 8,250円 特別会員 8,800円 学生会員 3,850円 非会員 9,900円
- プログラム (時間を変更する場合もございますのでご了承願います)

<p>1. 新しい交通事故リスクマネジメントについて 交通事故発生の危険性は、空間的にも時間的にも大きく変化しますが、近年、“交通事故リスク”として定量的に評価することが可能となりつつあります。そこで本講では、交通事故リスクの特徴や性質、および交通事故リスクを活用した交通マネジメントの有用性を解説するとともに、具体的な事例を交えながら、交通事故リスクを活用する適切な交通マネジメント、適切な交通事故対策の方法を紹介しします。</p>	吉井 稔雄 北海道大学	10:30 ~ 11:20
<p>2. 国土交通省の道路交通安全の取組 ~「総論賛成各論反対」を超えるために~ 「交通事故を減らしたい」と言うだけならば、普通にご賛同いただけますよね。ですが、「そのために、あなたの家の前で●●をします」と言うのと、「それはちょっと困る」とも言われそうです。道路管理者だけが孤独に頑張るのではなく、警察、学識者、地域とも協働し、総論賛成各論反対の壁を超えて必要な対策を実現するための着眼点とは。「ゾーン 30 プラス」等の取組紹介を起点として、皆様と考えていきたいと思ひます。</p>	鈴木 大健 国土交通省	11:20 ~ 12:00
昼休み		
<p>3. 最近の自転車等の安全利用政策の動向について 最近の自転車の交通事故の情勢等を踏まえ、警察庁においては、新たに有識者検討会を立ち上げ、安全教育、違反処理、交通規制の3つの観点から検討を行い、今般、その提言を取りまとめたところです。提言の具体的な内容について解説するとともに、特定小型原動付自転車の事故状況等も紹介しつつ、自転車への反則金制度の導入など、今後取り組むこととされた政策についてお話しします。</p>	尾花 優一 警察庁	13:00 ~ 13:40
<p>4. 幹線系道路における、衝突被害軽減ブレーキ(AEB)の追突事故削減効果 交通事故防止と交通事故時の被害軽減に向けて、「人」「道」「車」の三要素それぞれから交通安全対策が進められてきました。「車」については、先進安全自動車(ASV)の検討が進められており、技術がドライバーの安全運転を支援することによる、事故の軽・減が期待されます。ここでは、先進安全自動車に搭載される技術のうち衝突被害軽減ブレーキ(AEB)について、一般国道での追突事故削減状況の分析結果を紹介しします。</p>	高宮 進 公益財団法人 交通事故 総合分析センター	13:40 ~ 14:10
<p>5. 高速道路における交通事故対策の取り組みについて 高速道路においては、過去からその時代の車の取り巻く環境、交通状況の変化、最新の技術を取り込みながら最善な交通安全対策を実施してきました。近年の高速道路における交通事故対策について、各要因別の対策事例を踏まえながら紹介を行います。また、最近では高速道路への車両の逆走や、歩行者等の立入りについても多く発生しており、逆走・立入りに関する安全対策の事例についても併せて取り組み状況の紹介を行います。</p>	日隈 宏治 首都高速道路株式会社	14:10 ~ 14:50
休憩		
<p>6. パネルディスカッション 参加者からの質問をもとに討議</p>	コーディネーター: 吉井 稔雄 パネリスト: 講演登壇者の皆さまを予定	15:00 ~ 16:30

- 参加登録について:
- ・当会ホームページ(<https://www.jste.or.jp/events/>)よりお申込みください。
- ・本講習会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
- ・申込みフォームから参加者情報の送信、参加費納入の両方の手続きが済むと、参加登録が完了となります。
- ・申込期間：2024年5月中旬~7月9日(火)
- ・振込による入金期限：2024年6月28日(金)。以降はクレジット決済での申し込みのみ受け付けます。
- ・参加登録(入金)が完了した方には、参加方法や、資料入手方法等のご案内を参加登録されたメールアドレス宛に配信します。
- 参加申込や支払いに関するお問合せは、mail：maf-jste.event@mynavi.jp までお願いします。

